

第1号 2003年8月

市民と行政のまちづくりの場

麻生まちづくり市民の会発足!

麻 生まちづくり市民の会設立総会が、5月17日会員94名中52名の出席で、区役所会議室で開かれました。これは、住み良いまちづくりを進めるため設立された「麻生まちづくり会議」が、三年間の活動を終了したために、成果を引き継ぐ組織としてできたものです。麻生まちづくり会議内に設けられた、設立準備委員会では、「設立趣意書」「要綱」の提案がされ、広く区民に会員を公募してきました。

開会のあいさつでは、開かれた会として区民に理解してもらうために、説明会の開催、役員の手立候補を受付けたことの説明と、明るく和やかな会になって欲しいという願いが話されました。



中野区長のあいさつでは、人口増加が予想される麻生区にはいろいろな課題があり、それを

解決するために、区民の意見や要望を行政に反映されるように、区民が参画する場が重要になってきています。区民と行政の橋渡しをする中間組織としての働きを期待したいとのことでした。

会長には、子供会活動で活躍されている山崎優さん、副会長には、長年交通問題に取り組んでこられた碓井勝次さんと、新百合ヶ丘の開発に詳しい北島信夫さんが選ばれました。役員紹介、予算案の報告の後、部会ごとの会合(実践部会、パートナーシップ推進部会、バックアップ部会)に移りました。当面は、設立趣旨と運営について会員間の理解を深めるために、部会ごとの勉強会とともに、全員参加による勉強会も行う事が確認されました。

麻生まちづくり市民の会、今後のスケジュール(どの会も傍聴ができます。会場は区政推進課に問い合わせ下さい)

実践部会: 第1金曜日 8月1日・18時30分
パートナーシップ推進部会: 8月11日・14時00分
バックアップ部会: 第1水曜日 8月6日・15時30分

運営委員会: 第2・4火曜日 8月12日・14時00分
8月26日・14時00分

麻生まちづくり市民の会 スタートにあたって

会長 山崎 優



麻生区が誕生して21年の歳月がたち、振り返ってみれば市民主体のまちづくりがスタートし、「区民懇話会」から始まって「区づくり白書」「まちづくり会議」までの間にそのつど諸問題を参加された市民が検討し提案し行政と一緒に解決にむかって努力され、その成果が反映されていると思います。

これからスタートする「麻生まちづくり市民の会」には公募によって、多くの市民が趣意書に賛同し、麻生区の将来を考え参加されたことと思います。川崎市が行った市民1万人アンケート報告書によると麻生区は自然が豊か・将来性があると区民が答えていますので、いろいろな視点から見ていくことが必要ではないでしょうか。

市民の会としても、設立総会で承認された3部会において、課題を出し合い検討し、結論が出たものについては市民の会の総意として行政に反映させるとともに市民の会も情報を積極的に発信し、市民の皆様からも意見を取り入れていくことが会の発展にも大きな力となりますので、ご協力くださることを願っております。

副会長 碓井 勝次



私は色々なお手伝いをして参りましたが、一番長いのは交通関係で、昭和39年安全協会支部役員から、現在青少年交通安全連絡協議会まで続いています。その集約として、「柿生駅周辺街づくり協議会」のお手伝いしている関係から、熱心にお誘いいただいた事もあって、お仲間に入らせていただいたわけで、副会長の器ではありません。突然の指名を受け困っておりますが、お引き受けした以上は、全力を尽くさせていただきます。

又、広報担当となっておりますが、広報委員会につきましては、まちづくり会議の広報を担当された方や、立派な方々で充実した委員会が組織されています。安心してお願い出来ますので、正に大船に乗った心地でいます。

ボランティア活動は、楽しくなくてはいけないと教えられて来ました。そして、それを行うために、多少難しい顔をする事もあるのかも知れませんが、皆が楽しみながら1年を過ごす事が出来るようお願い申し上げます。

副会長 北島 信夫



私たち市民がまちづくりを企画し、実行する時に、緑を守ったり、公園を整備したり、道路を改善したりすることなどが考えられますが、それを成功させるためには人と人との和が大切です。

私たちがまちづくりを行うとき、最初から大きなことを考えずに、目の前にある問題を出来る範囲で考え、周りの人に呼びかけ、行動しながら次のことを考えてはどうでしょうか。

まちづくりに参加することは、街がきれいになったなどハード的なことも大切ですが、隣の人と会話が出来た、多くの友人が出来た、といった人の和・交流が深まることが最大の成果ではないでしょうか。そして、このエネルギーが次の課題の解決へと進むことになると思います。

「まちづくり市民の会」に参加された皆様、この1年間を楽しみながら話し合い、行動しませんか。



麻生区長 中野 勝之

「麻生まちづくり市民の会」発足にあたり、麻生区役所を代表して、お喜び申し上げます。

麻生区では、区民と行政が協働して、住み良いまちづくりを推進してまいりました。「麻生まちづくり会議」がさまざまな成果を生み、その3年間の活動を終わりました。そして、それらの成果を引継ぐ組織として、「麻生まちづくり市民の会」が新たな会員を含め、94名もの多くの区民の皆様の参加を得てスタートいたしました。あらためて、まちづくりへの関心の高さ、積極的にまちづくりに関わりたいと思っ

ていらっしゃる方が、麻生区には多いことを実感しているところでございます。さて、これから「市民の会」の活動が具体的に始まる訳ですが、「市民の会」に求められるものは、麻生区全体を見渡して、区の課題は何か、区民の多くが何を望んでいるか等といった広い視野と地域における生活者としての視点を併せ持つことではないかと思えます。当面の活動は、会員相互の意見交換や交流を深めながら、「市民の会」の設立趣旨などの確認が主なものとなりそうですが、今後の具体的な活動を始める際にはこのような視点を念頭に置きながら活動いただければと思っています。会員の皆様の今後の御活躍を期待しております。

区のイメージは、「自然が豊か」「高い将来性」

～市民1万人アンケートから～

川崎市では平成14年秋に市政および区政に関する市民1万人アンケートが実施されました。この調査は市や居住区の生活環境評価や将来像などについて、市民がどのように考えているかを把握し、区役所が主体的に行う自主事業「魅力ある区づくり推進事業」の企画・立案等の基礎資料とすることを目的としています。

ここでは居住区に関するアンケート結果のいくつかを紹介します。(各質問への回答は上位3項目)

○麻生区のイメージについて

- 自然が豊か・・・50.5%
- まちの景観がよい・・・34.3%
- 将来性がある・・・33.3%

参考:各区の居住区のイメージ

- 川崎区～路上生活者が多い 工場・コンビナート 放置自転車が多い
- 幸区～庶民的 放置自転車が多い 路上生活者が多い
- 中原区～庶民的 放置自転車が多い 交通網の発達
- 高津区～放置自転車が多い 庶民的 人や車が多い
- 宮前区～自然が豊か まちの景観がよい 人や車が多い
- 多摩区～自然が豊か 庶民的 放置自転車が多い

○麻生区の将来像について

- 病院や福祉施設の整備された安心して暮らせるまち・・・53.8%
- 水辺や緑を生かした自然の豊かなまち・・・48.4%
- 災害や事故、犯罪のない安全に暮らせるまち・・・43.4%

○麻生区の地域活動の参加状況について

- 自治会や町内会活動・・・33.7%
- 街なみや公園等の美化、維持管理活動・・・12.7%
- PTAなどに関する活動・・・12.5%

○居住区の総合生活環境満足度

- 麻生区・・・55.7%
- 中原区・・・52.8%
- 宮前区・・・48.2%
- 高津区・・・44.1%
- 多摩区・・・42.2%
- 幸区・・・38.6%
- 川崎区・・・38.0%

アンケートから見えてきたこと

区民の多くは麻生区に肯定的なイメージを持ち、将来への期待度も高いことがわかります。また、地域活動への参加状況の内、上位3項目については7区中最も多く、参加していない区民は最も少ないなど地域活動への参加意欲が高いといえます。

麻生区の将来性への高い期待感を胸にさまざまな市民活動、市民参加への意欲を実践につなげている、またつなげようとしている区民像が浮かび上がってきます。市民の会としてはそのような区民に向かって行政との協働によってどのような活動テーマを提示し、区民の輪を拡げていくことができるか、大きな責任を担っているといえるでしょう。

ニュース

支援ルームいよいよ土曜・夜間開室します

平成14年4月に開室した区民活動支援ルームも一年が過ぎ、いよいよこの8月から土曜・夜間も使えるようになります。支援ルームでは6月から、利用登録団体からと、麻生まちづくり市民の会からの運営委員が日常の業務に当たっています。区役所もルームの空調設備をあらたに付けるなど、土曜・夜間の開室に協力体制を整えています。利用方法は支援ルーム運営委員会で決まっていますが、当面は第3土曜日10時から17時までと、夜間は第2、第4水曜日17時から20時までの利用となります。予約方法は区役所開庁時とは違って、利用希望日の予約締切日があり、ルーム利用者の氏名も前もって知らせる等、また予約表も別に用意されます。詳しくは、区民活動支援ルームへ問い合わせください。(電話:965-5209 毎週水曜10時~12時)

第三回麻生ハートフルエイジ ファッションショー モデル出演者募集

年を重ねても、元気にさっそうとまちに出掛けましょう。いつもイキイキと輝いていたい、そのためにも服装やお化粧品に気をつかう事は大切です。きっと外に出掛けたくになります。あなたも服装、髪型、ウォーキングなど、専門家の助言を受けて挑戦してみませんか。



この高齢者ファッションショーは、単に華やかさを競うものではなく、“明るくいきいきとした麻生のまちづくり”の一環として、高齢者が地域活動に積極的に参加できる場を提供することによって、地域社会に接点を持ちながら仲間の輪を広げ、健康づくり・生き甲斐づくりを応援することを“目的”として開催しています。

開催日時:10月12日(日)10時~
(麻生区民まつり開催日)
会場:麻生市民館大ホール

応募資格:主旨を充分ご理解いただける方で
麻生区在住・在サークルの、概ね65歳以上の男女
(応募者多数の場合は、初参加の方を優先させて頂きます)
麻生区在住で車椅子や杖をご使用の60歳以上の男女
麻生区在住で「孫」役の4歳~15歳の男児、女児
応募方法:はがきに住所、氏名、年齢、性別、電話番号、上記応募資格番号(の方はと)明記して、下記宛先までお送りください。
〒215-8570 川崎市麻生区万福寺1-5-1
麻生区役所 区政推進課 まちづくり推進担当モデル募集係
応募締切:8月末日まで

編集後記 麻生まちづくり市民の会による、最初の広報紙を皆様にお届けします。この広報紙は、町内会联合会のご協力のもとにより、回覧していただいております。まだ最初の立上げ段階で、ドタバタしておりますが、次号より、一層の紙面の充実に努力していきたくと思います。(村尾)

発行:麻生まちづくり市民の会
編集:広報委員会(碓井、五十嵐、岡島、角井、國米、内藤、中込、村尾、守田、矢沢)
連絡・問い合わせ先:麻生区役所区政推進課 電話965-5116